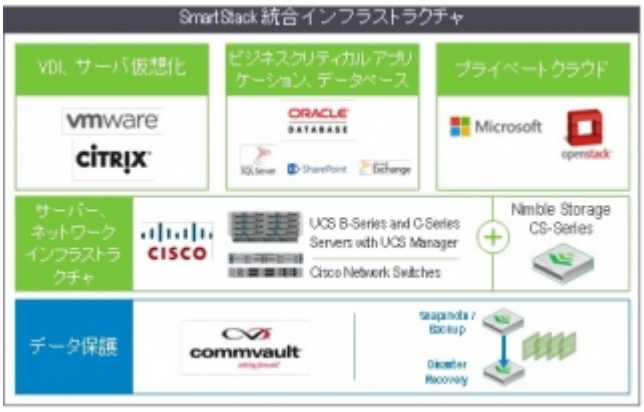
「Nimble Storage」の取り扱いを開始し、コンバージド・インフラストラクチャーのラインナップを拡大



Ciscoサーバ＆ネットワークを組み合わせた「SmartStack」をプリインテグレーションして提供

ITインフラのソリューション･ディストリビューターである株式会社ネットワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 森田 晶一）は、Nimble Storage（ニンブル・ストレージ）社（本社：米サンノゼ、NYSE: NMBL）の高速フラッシュメモリ（SSD）とハードディスク（HDD）のハイブリッド・ストレージシステム「Nimble Storage」に、Cisco Systems社のサーバとネットワーク製品を組み合わせたコンバージド・インフラストラクチャー「SmartStack（スマート・スタック）」を取り扱い開始します。

「Nimble Storage」は、高いスループットとコストパフォーマンスで、グローバル市場でも成長著しいストレージです。「SmartStack」は、VMware、Citrix、Microsoft、Oracleなど多数の主要アプリケーションが検証済みです。ネットワールドは、導入期間の大幅短縮、安定稼働などのメリットがあるコンバージド・インフラストラクチャーに注力していますが、「SmartStack」の取り扱いを開始することで、そのラインナップをさらに充実させ、自社内の「プリ・インテグレーションセンター（略称 PIC)」にて事前構築して提供します。

ネットワールドは、仮想化やクラウド関連ソリューションの中で、特に最適なストレージ環境の提供に注力しており、今回「Nimble Storage」を追加して製品ラインアップを強化すると同時に、Webサイト上でストレージの必要条件を入力して各ベンダーの見積を一括入手できる「ストレージ見積一括依頼サイト」を開設し、パートナーおよび顧客各社へのサービスを向上させます。さらに、「Nimble Storage」のハンズオントレーニングも3月から提供予定です。

◆ ハイブリッド型ストレージ「Nimble Storage」の特長

Nimble

Storage社は、グローバル市場において最も成長著しいストレージベンダーで、2010年に製品を出荷開始以来、約5年間で6,800以上の顧客が導入しています。「Nimble Storage」は、独自の特許技術である「CASL（キャスル）※」により、圧縮しながら効率的にディスクへ書き込みを行い、フラッシュメモリ(SSD)をリードキャッシュとして利用することにより高いパフォーマンスを実現し、ディスク当たりのIOPSは、他社製品と比較して10-15倍です。
これにより、「Nimble Storage」は少ないハードウエアリソースで性能と容量を確保できるため、アプリケーションが要求するI/Oとキャパシティに対して、SSDとHDDを組み合わせた競合他社製品と比べて、ストレージリソースの1/3～1/5を削減可能で、設備投資費やデータセンターの専有容積、運用費などの削減に寄与します。

※「CASL（キャスル）:Cache Accelerated Sequential Layout」の詳細は以下をご参照ください。
http://www.nimblestorage.com/products-technology/casl-architecture/

◆コンバージド・インフラストラクチャー「SmartStack」について

「SmartStack」は、NimbleとCiscoが共同で開発した垂直統合インフラストラクチャーで、VMware、Citrix、Microsoft、Oracleなど多数の主要アプリケーションが検証済みで、仮想デスクトップ（VDI）、プライベートクラウド、各種ビジネスアプリケーションなど、幅広いワークロードに対応したソリューションを提供します。

※詳細は以下をご参照ください。
https://www.nimblestorage.com/solutions/SmartStack/

◆ ネットワールドが現在提供中のコンバージド・インフラストラクチャー

ネットワールドは、導入期間の大幅短縮、安定稼働などのメリットがあるコンバージド・インフラストラクチャーに注力しており、「プリ・インテグレーションセンター（略称PIC)」にて事前構築して提供しています。
また、ベンダー各社のソリューションだけでなく、ネットワールドが取り扱う豊富な製品を組み合わせたオリジナルのコンバージド・インフラストラクチャーも提供しています。

・「FlexPod」：Cisco、NetAppによるソリューション
・「VCE Vblock」：Cisco、EMC、VMwareによるフルコンバージドソリューション
・「VSPEX」：
EMCストレージに、Cisco、Brocade、Microsoft、VMware、Citrixのサーバやネットワーク機器、ソフトウェアを組み合わせたソリューション
・「EMC VSPEX BLUE」：
仮想インフラを構築するために必要なソフトウェアを統合したVMwareのハイパーコンバージドインフラ「VMware EVO:RAIL」をベースに、EMC管理ソフトウェアやデータ保護ソフトウェアを搭載したハードウェアアプライアンス
・「Tintri VMstack」：Cisco、Tintriによるソリューション
・「Networld VDX」：「FlexPod」をベースに、VDIソフトウェア「VMware View」、VDI監視ツール「Stratusphere UX」（LiquidwareLabs社）、ベンチマークツール「Login

VSI Pro」（Login VSI社）、I/O高速化の「Atlantis ILIO」（Atlantis Computing社）などを組み合わせたネットワールド独自のソリューション
・ その他:「FlexPod」、「Vblock」などに、ストレージI/O高速化ソフト「PernixData FVP」を組み合わせたネットワールド独自のソリューション

◆「Nimble Storage」のプロモーションについて

（1）特別価格販売
◇販売期間：2016年2月1日 ~2016年6月30日
◇対象モデル：「Nimble Storage CS210」8TBモデル
◇販売価格：2,260,000円(税別)
※初年度24時間365日オンサイト保守費用込み
◇販売台数：20台

（2）評価用貸出機
◇多数ご用意しております。
担当営業もしくは nimble-info@networld.co.jp までお問い合わせください。

（3）ストレージ見積一括依頼サイト」
https://portal.networld.co.jp/storagequoteorder/
◇サービス内容：
必要な容量、IOPS、必要ソフトなどを入力し、希望ベンダーを選択（複数可）入力すると、ネットワールドワールドストレージチームより見積をご提出いたします。
ベンダーを選択せずに「おまかせ」を選択すると、ネットワールドが提案するソリューションと見積をご提出いたします。
◇対象製品：Nimble Storage、EMC、NetApp、Tintri

◆ Nimble Storageについて

http://www.nimblestorage.com/
Gartnerの汎用ディスクシステム（General-purpose Disk Arrays）のMagic Quadrantにおいて、Nimble Storageは、2013年「Visionary」として新出し、2015年には「Leader」に位置付けられました。わずか2年間で、市場ポジションが上昇した例は珍しく、また、2013年にはニューヨーク証券取引所に上場しました。日本法人であるNimble Storage Japan合同会社（本社：東京都新宿区、リージョナルディレクター 西岡 正）は2013年12月 設立され、日本国内におけるNimble Storage製品の販売支援（代理店経由）、技術サポートなどを提供しています。

■ 株式会社ネットワールドについて

http://www.networld.co.jp/
株式会社ネットワールドは、ITインフラストラクチャーのソリューションディストリビューターとして、クラウド

コンピューティング時代の企業IT基盤を変革する技術製品と関連サービスを提供しています。サーバ、ストレージやネットワーク、そしてアプリケーションやデスクトップの仮想化に早期から取り組み、次世代のITインフラストラクチャーのあるべき姿をリードしています。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com